

八戸工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	英語 I B(0064)	
科目基礎情報							
科目番号	1C20			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	産業システム工学科マテリアル・バイオ工学コース			対象学年	1		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	Power On English Communication, Factbook English Grammar, 『速読英単語 入門編』, Real-Life Listening 1						
担当教員	岡田 みゆき/小原 敏和						
到達目標							
読む、聞く、話す、書くという4技能を統合的に活用できるコミュニケーション能力の育成がこの科目の大きな柱となっている。中学校で学んだことを発展させる形で、基礎的な文法・語法・語彙などを積み上げるとともに、実践的に英語を理解したり表現したりする力を身につける。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安(優)		標準的な到達レベルの目安(良)		未到達レベルの目安(不可)	
評価項目1 中学レベルの文法や語彙が身についている		中学校レベルの文法や語彙の80%を理解し、発展させることができる。		中学校レベルの基礎的な英語を習得し、文法・語彙などを60%以上理解できる		中学校レベルの基礎的な文法や語彙の理解が60%を満たさない	
評価項目2 話の流れに留意して、まとまった量の英文を理解できる。		まとまった量の英文を、未知語があっても文脈の中で内容を理解しようと努め、あらすじを十分に推測できる。		まとまった量の英文を未知語があっても文脈の中で内容を理解しようと努める。		まとまった量の英文を文脈から理解しようと努力しない。	
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
ディプロマポリシー DP5 ○ ディプロマポリシー DP6 ◎ 地域志向 ○							
教育方法等							
概要		【開講学期】春学期週4時間 英語でコミュニケーションを取るのに必要な基本的文法・語彙を学び、4技能（読む、書く、話す、聞く）を伸ばす。					
授業の進め方・方法		テキストを用いて基本的な語彙や文法を学び、ペア活動やグループ活動を通してコミュニケーションを図り、自分の考えを他人が分かるように伝える機会を多く持つよう奨励する。					
注意点		積極的に授業に参加する意欲を持つことが求められる。また、提出課題は遅滞なく全て提出されるよう、期限を確認する。授業には紙辞書を持参し、折に触れて辞書の引き方や語句の意味・背景などを調べることで、自立した学習者になることを目指す。					
授業の属性・履修上の区分							
☒ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	Introduction / Lesson 4: Kawaii and Japanese Pop Culture Factbook 不定詞の復習		語句を正しく発音し、内容を理解できる。英問英答ができる。 * 原形不定詞を正しく使うことができる。完了不定詞を使うことができる。		
		2週	Lesson 4 : Kawaii and Japanese Pop Culture Factbook 動名詞		語句を正しく発音し、内容を理解できる。英問英答ができる。 * 動名詞の働きとそれが使われる場面を理解し、使うことができる。		
		3週	Lesson 5 : Banana Paper Factbook 分詞		語句を正しく発音し、内容を理解できる。英問英答ができる。 * 分詞の働きとそれらが使われる状況を理解できる。		
		4週	Lesson 5 : Banana Paper Factbook 分詞構文 付帯状況 慣用表現		語句を正しく発音し、内容を理解できる。英問英答ができる。 * 分詞を使って表現する状況を理解し、使うことができる。		
		5週	Lesson 6 : A Story about Instant Noodles Factbook 不定詞、動名詞、分詞の復習		語句を正しく発音し、内容を理解できる。英問英答ができる。 * 不定詞、動名詞、分詞が使われる場面を区別できる。		
		6週	Lesson 6 : A Story about Instant Noodles Factbook 比較		語句を正しく発音し、内容を理解できる。英問英答ができる。 * 原級、比較級、最上級を用いてできる表現を理解できる。		
		7週	Review / Factbook 比較 復習		語句を正しく発音し、内容を理解できる。英問英答ができる。 * 比較表現を用いたさまざまな表現を理解できる。		
		8週	到達度試験				
	2ndQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	2		
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	2		
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	2		
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	2		
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	2		
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	2		
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	2		
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	2		
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	2		
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	2		
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	2		
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	2		
				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	2		
				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	2		
				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	2		
				円滑なコミュニケーションのための態度をとることができる(相づち、繰り返し、ボディランゲージなど)。	2		
評価割合							
	試験	提出物・小テスト	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	30	0	0	0	0	100
基礎的能力	70	30	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0